



芳滝 仁
議員
(拓政会)



幕別町には、ふるさと館、蝦夷文化考古館、ナウマン象記念館や徳源地や途別水田の碑など、「歴史の散歩道」に紹介されている多くの碑などがある。

郷土の歴史、文化の保存継承は郷土への誇りや愛着を育て将来の文化発展の基礎となる大切な事業である。ふるさと館、蝦夷文化考古館は利用者数も減少しており施設は老朽化が著しい。今後の運営と整備についての方向性を伺う。

特に、考古館は生活館と一体利用しアイヌ文化の保存振興に力を入れるべきだが伺う。

パンフレット「歴史の散歩道」の学校教育や観光面への活用の現状を伺う。

依田勉三の公に資する徳源という考え方や途別新水路記念碑に見る北海道開拓における強制労働の歴史など学ぶべきものは多い。

旧相川小学校付近が生地と言われている作曲家万城目正は「りんごの唄」をはじめ美空ひばり、島倉千代子などの多くの歌の作曲を

問

幕別町の歴史的文化的の伝承について

答

郷土の歴史や文化の正しい理解のためにも保存継承が求められている

した偉大な作曲家である。

その顕彰について活動している方々と共に町も力を入れるべきだが伺う。

教育長 今後の運営と整備については、環境整備をし、施設全体

あり方などを検討しなければいけない時期にきたと認識している。

今後、幕別町文化財審議委員会などの関係機関の意見をいただくとともに、町長部局とも十分な協議をしながら計画性を持って対応していきたい。

考古館と生活館の一体利用については、地域からも10項目ぐらいの要望が上がっている。

一部敷地に民有地があり敷地の確保に時間がかかっていること、財政上の問題等整理していく必要があると思っている。

「歴史の散歩道」の活用については、これまで小学校の社会科の副読本の中に掲載し、社会科や総合的な学習の時間などを利用しての現地見学が行われているほか、観

光面では、現在、町長部局において、観光資源の一つとしてどのように活用ができるかとの検討を始めていると伺っている。

いろいろな方にお世話になり、万城目正記念第1回の歌謡音楽祭を開催した。

今、郷土文化研究員に対して、いろいろな人からの情報をいただき、遺品的な物があるならばここにたどり着くことを望んでいる。

そして、何とか歌謡音楽祭の継続実施を含めた中での幕別町に対する位置づけというものにつな

がっていかばいいかなと、私としては思っている。

再質問 ①「アイヌ文化振興法」にアイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を図るとあるが、民族の尊厳についての教育が大切だと思うが伺う。

②歴史的文化的の伝承の充実を図るために「学芸員」の採用の考えは

答

①アイヌ民族の人々の歴史を広く知ってもらうために、蝦夷文化考古館の周知や幕別町郷土文化研究員による講座を開催し、郷土学習の機会を提供していきたい。

②貴重な資料が調査、分析されていない状況もあるため、早急に手を打つ必要があると感じている。



ふるさと館展示室